

## ① HUG（避難所運営ゲーム＝ハグ）

避難所の出来事や避難者対応をゲーム感覚で模擬体験するゲームです。  
家族で、町内会で、HUG体験しませんか。

大規模災害時の応急対策活動の中でも特に重要なものの一つが避難所運営です。

市町村職員が運営の中心になることもあります。1995年の阪神・淡路大震災以降は地域住民や避難者を主体とした避難所運営を目指すところも多くなっています。もし、あなたが避難所運営にかかわる可能性があるのなら、一度はHUGを体験されることをおすすめします。

参加したプレイヤーは、このゲームを通して避難者の属性を考慮しながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、自由に意見を述べたり話し合いながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

避難所運営ゲームHUGは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカード（避難者カード）を避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事（イベントカード）にどう対応していくかを模擬体験するシミュレーションゲームです。

## ② 加古川市総合防災マップ学習会

家族で町内会で 1. 知る 2. 考える 3. 備える

- ① 知る まずは、自分の家や学校、勤務先などにどのような災害や被害が想定されているかを知りましょう。
- ② 考える いざという時にとるべき行動・心得など、何をしなければならないのか具体的に考えてみましょう。
- ③ 備える 災害に対応するには、日ごろから防災対策に取り組み、いざという時に備えましょう。

「加古川市総合防災マップ（ハザードマップ）2021年改定」では、加古川市内で起こりうる地震災害や水害の被害想定を、地域別・災害別に地図に示しています。

水害編では、河川の氾濫、堤防の決壊といった水害時の被害を最小限度に食い止めることを目的として、浸水が予想される区域や避難場所、避難経路などの各種情報を誰が見てもわかりやすいように、地図上に現してあります。

もしもの時に少しでも被害を軽減するために、市民の皆さまには、まず**加古川市総合防災マップ（ハザードマップ）の見方を知っていただき**、想定される災害と被害を**知り**、対策を**考え**、実際にできることから**取り組み・備え**ていただくための学習会です。

## ③ 防災研修

地縁に根ざした互助の取り組み・地域コミュニティ防災の新たな担い手の育成

なぜ、災害のたびに高齢者や体の不自由な方が多く犠牲になるのでしょうか。

地域コミュニティが担う重点機能、災害時の応急対応や復旧、復興まちづくりには、**地域コミュニティが大きな役割**を果たしています。

※上記無料学習会以外にも One by one は「防災学習」のお手伝いをいたします

NPO 法人 One by one は、各種団体・町内会・子ども会・老人会等に対して防災活動の手助けとなる「防災学習」を実施します。希望される団体の方は下記までご連絡ください。

- 事業の主旨 災害時に高齢者・障がい者など避難行動要支援者が避難の遅れにより残念ながら災害関連死につながってしまう場合が多く、心を痛めます。これらの被害を少しでも軽減するためには地域住民の皆さまが問題意識を持ち、災害時に起こりうる事態を予想し、備え、乗り切る知恵を身につけることが大変重要です。そこで私たち One by one では、より多くの市民の皆さまに防災意識を高めてもらえるよう町内会、子ども会、老人会など皆さまにとって身近な単位で「防災学習」を実施していきます。お気軽にお問い合わせください。

- 「防災学習」の内容  講演（各種災害・備え・避難所運営・災害関連死 他等）  
 ワークショップ（避難所運営ゲーム・災害図上訓練 等）  
 体験セミナー（簡易/携帯トイレ・搬送法・段ボールベッド・非常食試食 等）

- 費用・所要時間 皆様のご要望・ご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。

NPO 法人 One by one 〒675-0056 加古川市東神吉町砂部 124-12

電話：090-1895-8049

Eメールアドレス：onebyone.kakogawa@gmail.com